青い空と海、そして白い砂浜。
福井にこんなステキなビーチがあったなんて知らなかった。

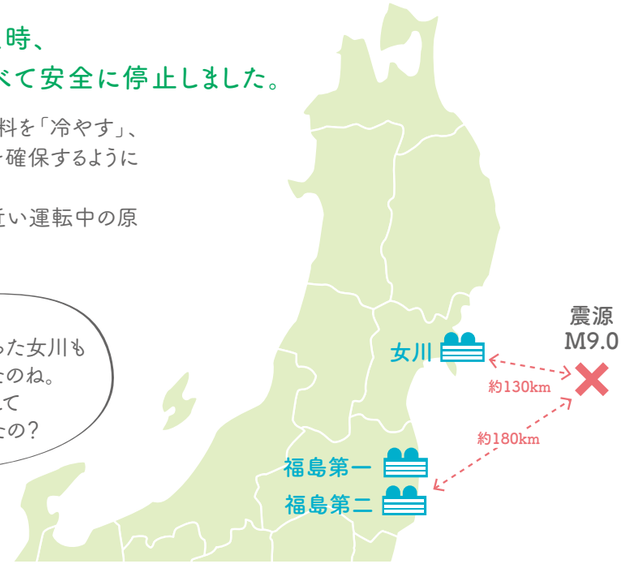
あっ、向こうに原子力発電所が見えるけど、原子力発電って大丈夫なのかな？

地震とか津波とか、災害への対策もちゃんとやってるで。

福島第一原子力発電所事故の後、
同じような事故が起こらないよう新しい規制基準が定められました。
その基準を満たす安全対策に加え、自主的な取組みも行うなど、
さらに安全性を高めています。

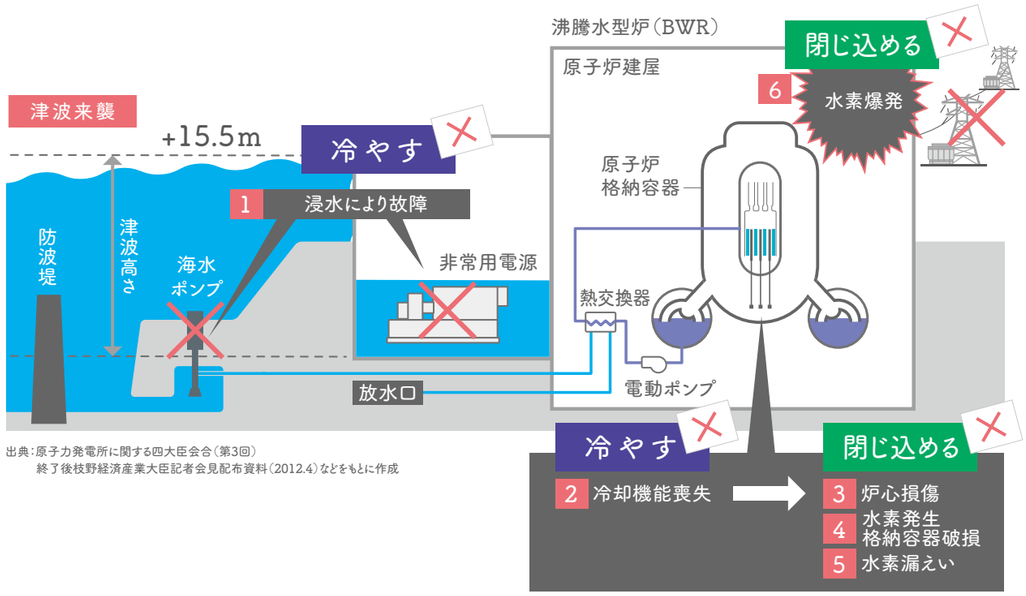
東日本大震災における地震発生時、震源に近い原子力発電所はすべて安全に停止しました。

原子力発電所は、原子炉を「止める」、燃料を「冷やす」、放射性物質を「閉じ込める」ことで、安全を確保するように設計されています。
東北地方太平洋沖地震の際も、震源に近い運転中の原子力発電所はすべて安全に停止しました。



福島第一原子力発電所は地震に伴い発生した津波により、非常用電源を失ったため、炉心冷却を維持できず事故に至りました。

地震発生当時、原子炉はすぐに自動停止しました。
しかし、その後発生した津波により各機器を冷やすために海水を送るポンプや非常用電源が壊れ 1 、原子炉を冷やす機能を失いました 2 。この結果、燃料が破損・溶け出す炉心損傷が起こり 3 、水素が発生。また、高温により原子炉格納容器が破損し 4 、水素が原子炉建屋に漏れ出しました 5 。原子炉建屋内に水素がたまったことで水素爆発が起こり 6 、放射性物質を閉じ込めることができなくなってしまいました。



出典：原子力発電所に関する四大臣会合（第3回）
終了後枝野経済産業大臣記者会見配布資料（2012.4）などをもとに作成

押さえておきたいワードはこれ！

燃料を「冷やす」
原子炉内の燃料は、核分裂反応が止まった後も大量の熱が発生する。このため常に水で冷やす必要があり、冷やし続けなければ燃料が溶け出す恐れがある。

福島第一原子力発電所事故についてはこちらから
リンク先：（一財）日本原子力文化財団HP

Read more!